

株式会社ダイフク<6383>

2020年3月期 第3四半期

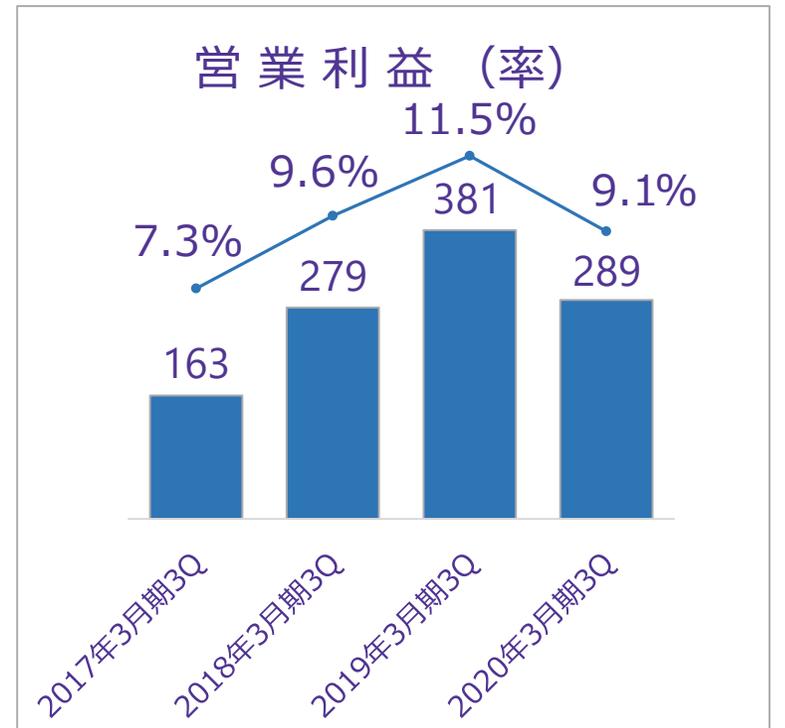
(2019年4月1日 ~ 2019年12月31日)

決算説明資料

2020年2月7日

- ✓ 受注高・売上高・営業利益ともに、主に半導体・液晶業界の設備投資減少が影響

(億円)



2020年3月期 第3四半期業績（連結）

(億円)

	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q 実績	対前年 同期比
受注高	3,746.8	3,381.0	▲9.8%
売上高	3,306.5	3,188.0	▲3.6%
営業利益	381.0	289.2	▲24.1%
経常利益	390.3	295.1	▲24.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	326.9	218.0	▲33.3%
包括利益	306.6	189.7	▲38.1%

1株当たり四半期純利益	259.93円	173.23円
為替レート（1US\$当たり）	109.64円	109.22円

- ✓ 前年同期は、関係会社（Knapp社）株式の売却益69.4億円を特別利益に計上

(億円)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)	
	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q
ダイフク	1,750.3	1,419.2	1,441.0	1,457.7	244.3	123.4
コンテック	126.0	129.6	122.7	119.2	9.8	13.2
DNAHC _{※1}	881.5	1,000.7	682.4	713.1	35.9	47.2
CFI _{※2}	288.4	187.8	262.8	228.3	22.0	30.1
その他	700.3	643.5	771.0	680.5	36.2	13.4
連結調整等	-	-	26.4	▲11.0	▲21.5	▲9.5
合計 (調整後)	3,746.8	3,381.0	3,306.5	3,188.0	326.9	218.0

✓ ダイフク：eコマース関連の需要増加・システムが大型化

✓ DNAHC：自動車生産ライン向け大型案件を受注

✓ CFI：半導体メモリーの需要回復遅れにより受注高・売上高が減少

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 CFI = Clean Factomation, Inc.

(億円)

	2019年 3月期期末	2020年 3月期3Q	増減額
流動資産	3,262.3	3,132.2	▲130.1
現金及び預金	909.1	660.7	▲248.3
売上債権	1,918.6	1,918.9	+0.3
たな卸資産	342.0	383.2	+41.1
その他	92.4	169.1	+76.7
固定資産	837.4	904.7	+67.3
有形固定資産	370.2	450.2	+80.0
無形固定資産	124.6	112.7	▲11.8
のれん	75.6	65.9	▲9.6
その他	48.9	46.8	▲2.1
投資その他の資産	342.6	341.7	▲0.8
資産合計	4,099.8	4,036.9	▲62.8

	2019年 3月期期末	2020年 3月期3Q	増減額
流動負債	1,559.6	1,394.0	▲165.5
仕入債務	717.9	662.0	▲55.9
短期借入金	194.3	195.8	+1.5
その他	647.3	536.1	▲111.1
固定負債	311.3	336.6	+25.3
長期借入金	205.6	211.9	+6.2
その他	105.6	124.7	+19.0
負債合計	1,870.9	1,730.7	▲140.2
株主資本	2,146.5	2,253.7	+107.1
資本金	318.6	318.6	-
利益剰余金	1,627.2	1,730.3	+103.0
その他	200.6	204.7	+4.0
その他の包括利益 累計額	40.3	9.6	▲30.6
非支配株主持分	41.9	42.8	+0.8
純資産合計	2,228.8	2,306.2	+77.4
負債純資産合計	4,099.8	4,036.9	▲62.8

✓ **総資産：62億円減少**
(主な要因)
現金及び預金が248億円減少した一方、
建物等の取得により有形固定資産が80億
円増加

✓ **負債：140億円減少**
(主な要因)
仕入債務のうち支払手形・工事未払金等
が46億円、その他のうち未払法人税等が
119億円減少

✓ **純資産：77億円増加**
(主な要因)
利益剰余金が103億円増加したものの、
為替換算調整勘定が34億円減少

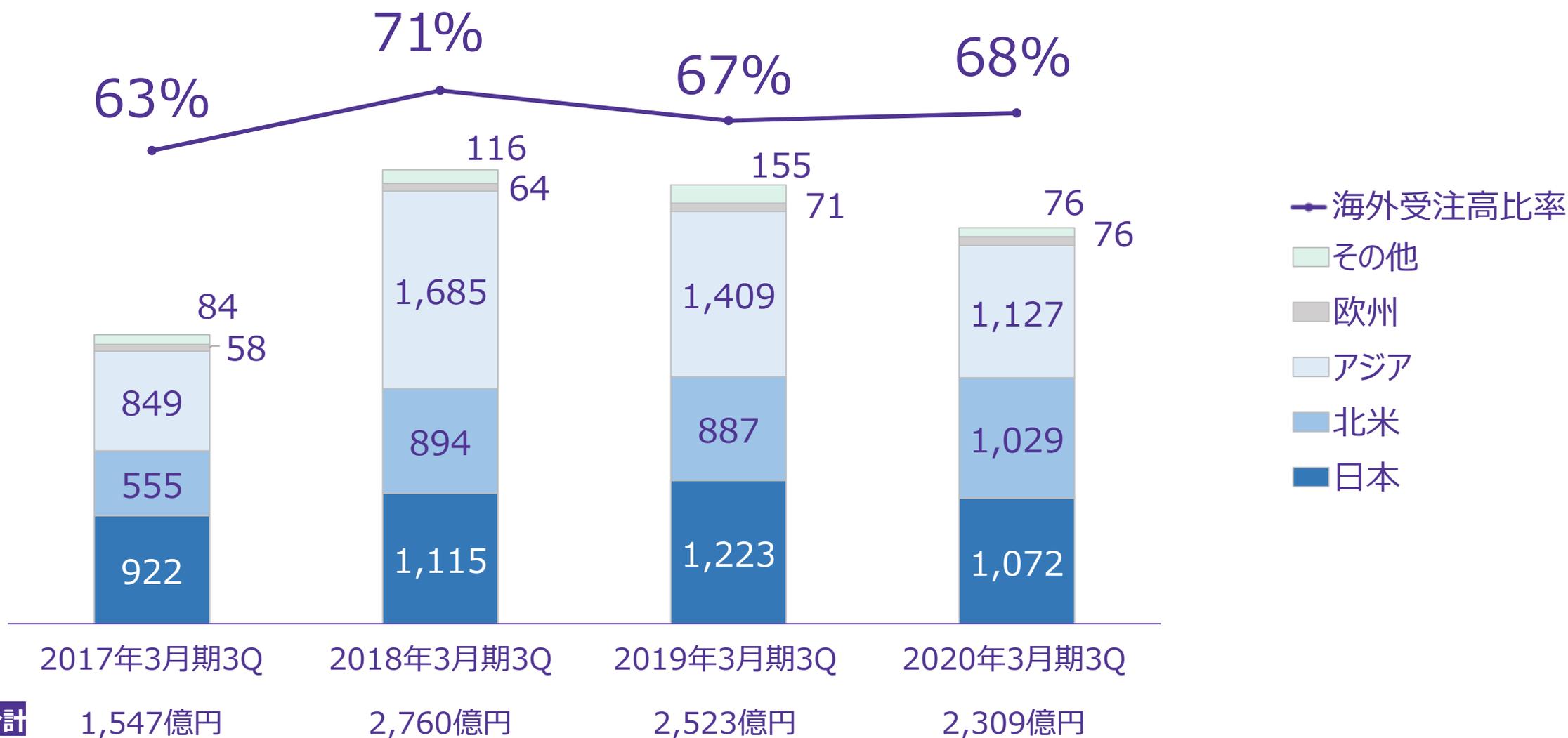
(億円)

業種	受注高				売上高			
	2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		2019年3月期3Q		2020年3月期3Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および自動車部品	522.9	14.0%	753.2	22.3%	469.1	14.2%	447.0	14.0%
エレクトロニクス	1,339.4	35.7%	1,083.8	32.1%	1,432.7	43.3%	1,139.7	35.8%
商業および小売業	594.4	15.9%	558.9	16.5%	517.5	15.7%	608.6	19.1%
運輸・倉庫	301.8	8.1%	209.1	6.2%	184.9	5.6%	205.8	6.5%
機械	108.1	2.9%	84.1	2.5%	64.0	1.9%	93.7	2.9%
化学・薬品	105.8	2.8%	142.1	4.2%	100.5	3.0%	102.3	3.2%
食品	93.2	2.5%	106.6	3.2%	86.6	2.6%	81.8	2.6%
鉄鋼・非鉄金属	48.1	1.3%	47.6	1.4%	28.4	0.9%	39.0	1.2%
精密機器・印刷・事務機	104.1	2.8%	38.8	1.2%	42.6	1.3%	78.8	2.5%
空港	396.4	10.6%	246.0	7.3%	248.9	7.5%	281.0	8.8%
その他	132.2	3.4%	110.3	3.1%	131.0	4.0%	109.7	3.4%
合計	3,746.8	100.0%	3,381.0	100.0%	3,306.5	100.0%	3,188.0	100.0%

✓ 受注高：北米の大型案件受注により自動車および自動車部品が好調

✓ 売上高：商業および小売業、空港向けが順調

(億円)



海外合計

(億円)

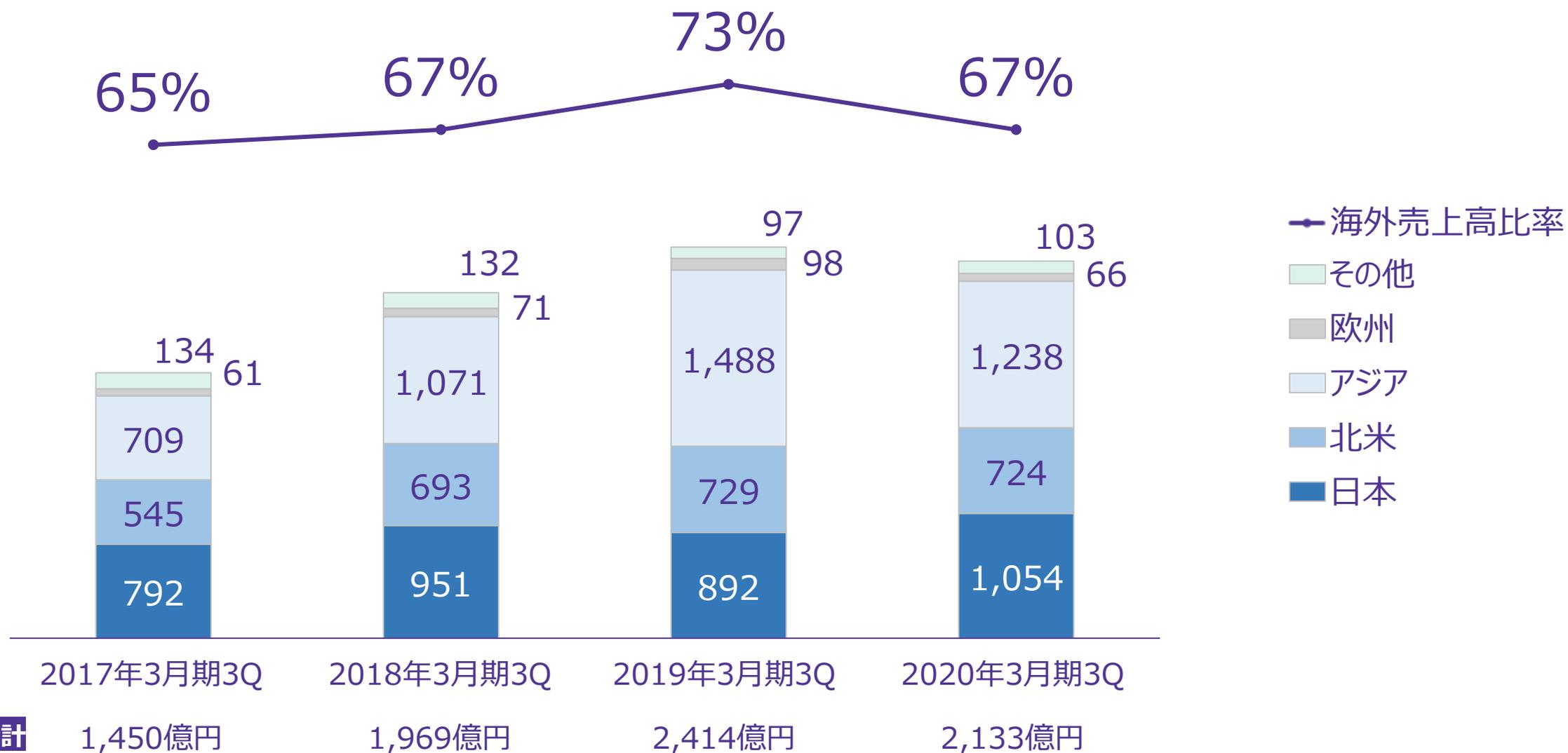
地域	国名	2017年3月期3Q		2018年3月期3Q		2019年3月期3Q		2020年3月期3Q	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
日本		922.9	37.4%	1,115.1	28.8%	1,223.2	32.6%	1,072.0	31.7%
海外		1,547.7	62.6%	2,760.3	71.2%	2,523.6	67.4%	2,309.0	68.3%
	北米	555.6	22.5%	894.1	23.1%	887.2	23.7%	1,029.2	30.4%
	アジア	849.0	34.4%	1,685.2	43.5%	1,409.7	37.6%	1,127.2	33.3%
	中国	329.6	13.4%	991.6	25.6%	683.2	18.2%	467.5	13.8%
	韓国	261.8	10.6%	490.1	12.6%	384.0	10.3%	287.6	8.5%
	台湾	180.6	7.3%	107.0	2.8%	225.7	6.0%	308.2	9.1%
	その他	76.9	3.1%	96.3	2.5%	116.7	3.1%	63.8	1.9%
	欧州	58.1	2.3%	64.7	1.6%	71.1	1.9%	76.4	2.3%
	中南米	16.1	0.6%	43.4	1.1%	83.3	2.2%	8.4	0.3%
	その他	68.6	2.8%	72.7	1.9%	72.1	2.0%	67.6	2.0%
合計		2,470.6	100.0%	3,875.4	100.0%	3,746.8	100.0%	3,381.0	100.0%

✓ 北米は、自動車生産ライン向けの受注が好調

✓ 中国は、液晶業界の設備投資が減少

✓ 台湾は、半導体工場向けシステムの受注が好調

(億円)



(億円)

地域	国名	2017年3月期3Q		2018年3月期3Q		2019年3月期3Q		2020年3月期3Q	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
日本		792.3	35.3%	951.6	32.6%	892.4	27.0%	1,054.9	33.1%
海外		1,450.8	64.7%	1,969.9	67.4%	2,414.0	73.0%	2,133.1	66.9%
	北米	545.5	24.3%	693.8	23.7%	729.4	22.1%	724.2	22.7%
	アジア	709.9	31.7%	1,071.8	36.7%	1,488.7	45.0%	1,238.9	38.8%
	中国	223.2	10.0%	485.1	16.6%	800.6	24.2%	542.1	17.0%
	韓国	219.6	9.8%	386.8	13.3%	439.4	13.3%	319.9	10.0%
	台湾	194.4	8.7%	131.9	4.5%	144.2	4.4%	281.2	8.8%
	その他	72.6	3.2%	67.9	2.3%	104.4	3.1%	95.5	3.0%
	欧州	61.2	2.7%	71.5	2.4%	98.0	3.0%	66.6	2.1%
	中南米	28.9	1.3%	49.3	1.7%	37.5	1.1%	43.8	1.4%
	その他	105.1	4.7%	83.3	2.9%	60.3	1.8%	59.3	1.9%
合計		2,243.2	100.0%	2,921.6	100.0%	3,306.5	100.0%	3,188.0	100.0%

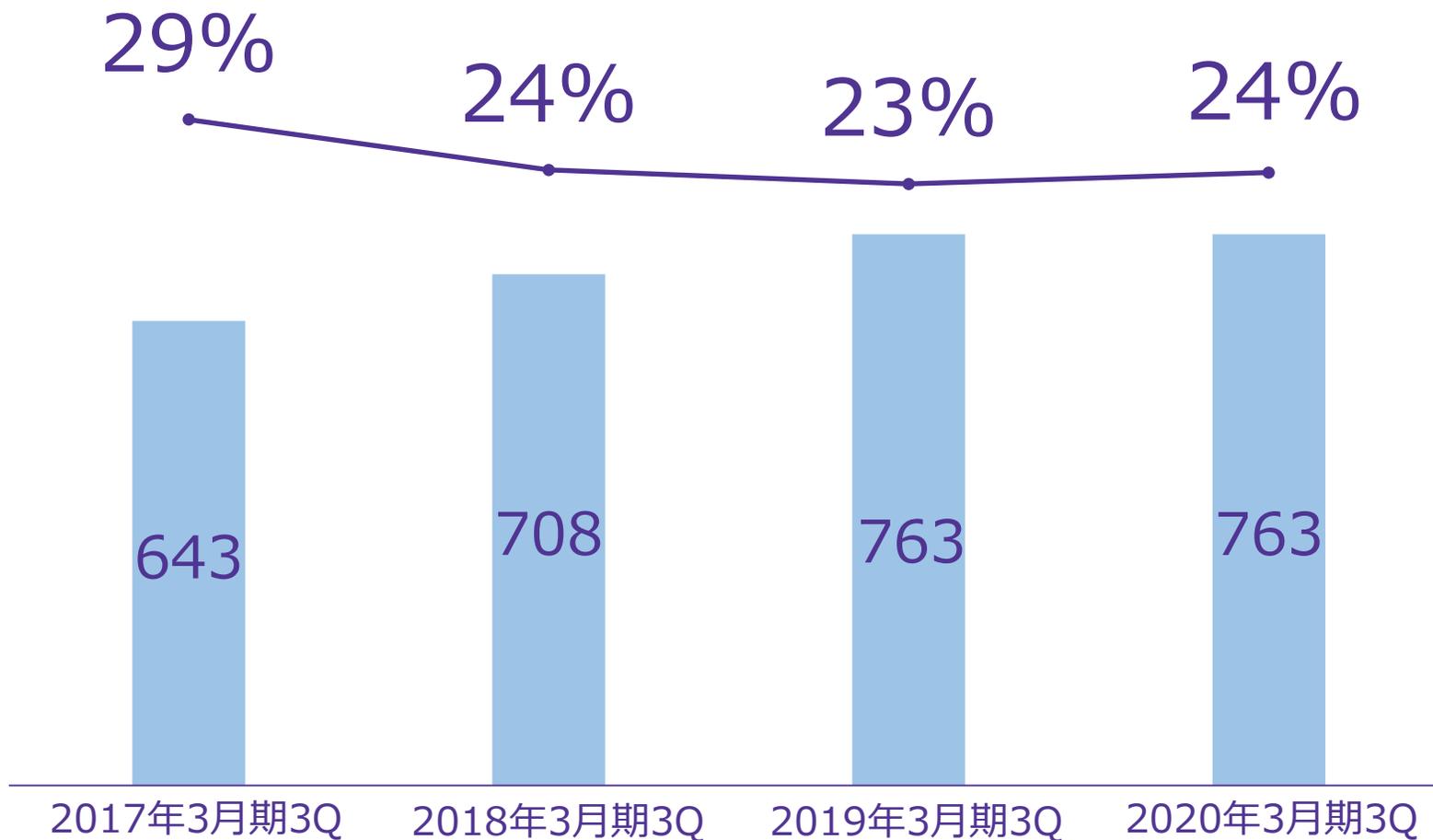
✓ 国内は、一般製造業および流通業向け大型システムが順調

✓ 韓国は、半導体・液晶業界の設備投資が減少

✓ 台湾は、半導体向けが好調

(億円)

(対売上高比率)



✓ サービス売上高は堅調に推移

対前年
成長率

▲4%

円高の影響

10%

8%

▲0%

※サービス売上高

納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

2020年3月期通期業績予想 (連結)

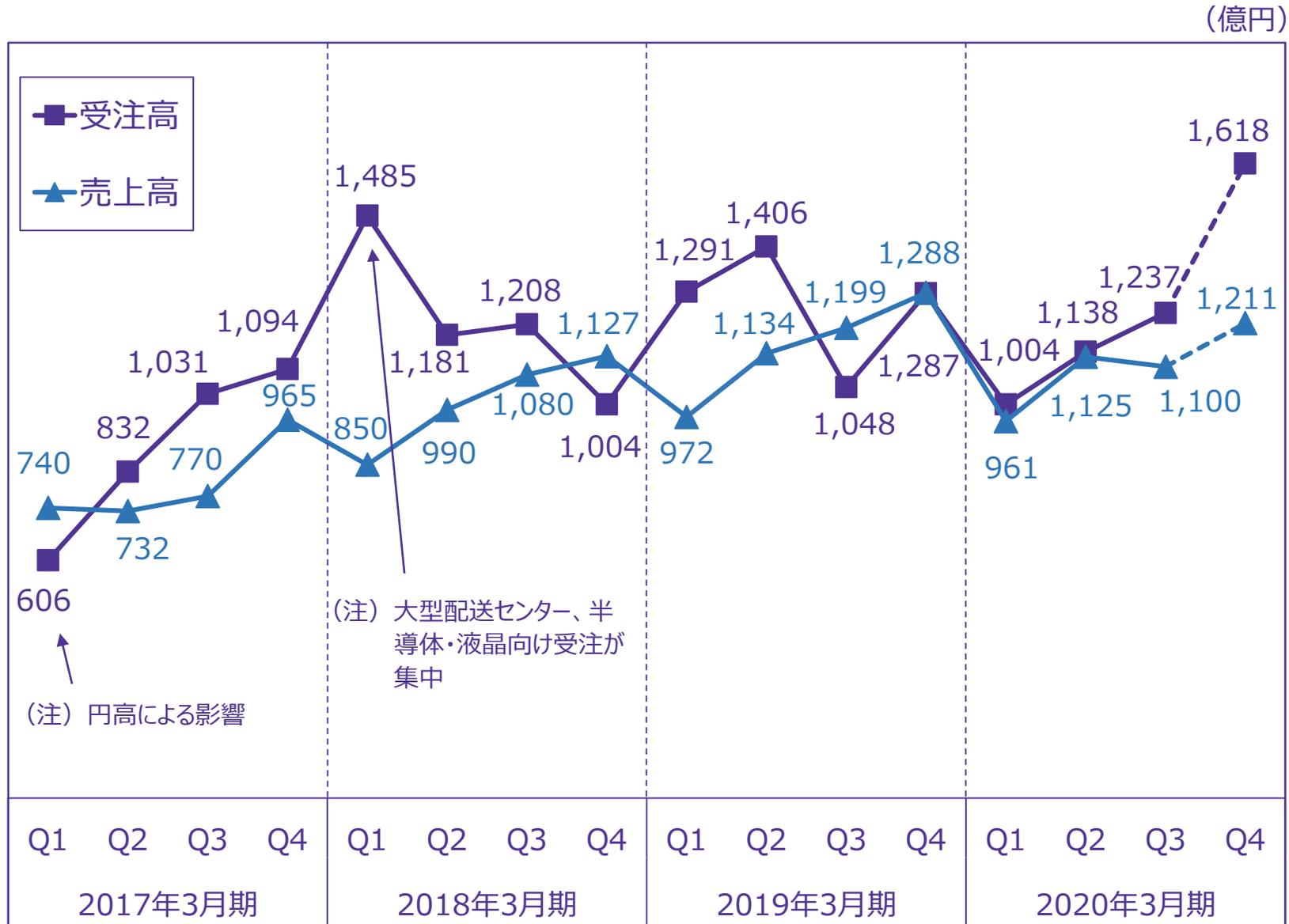
DAIFUKU

11

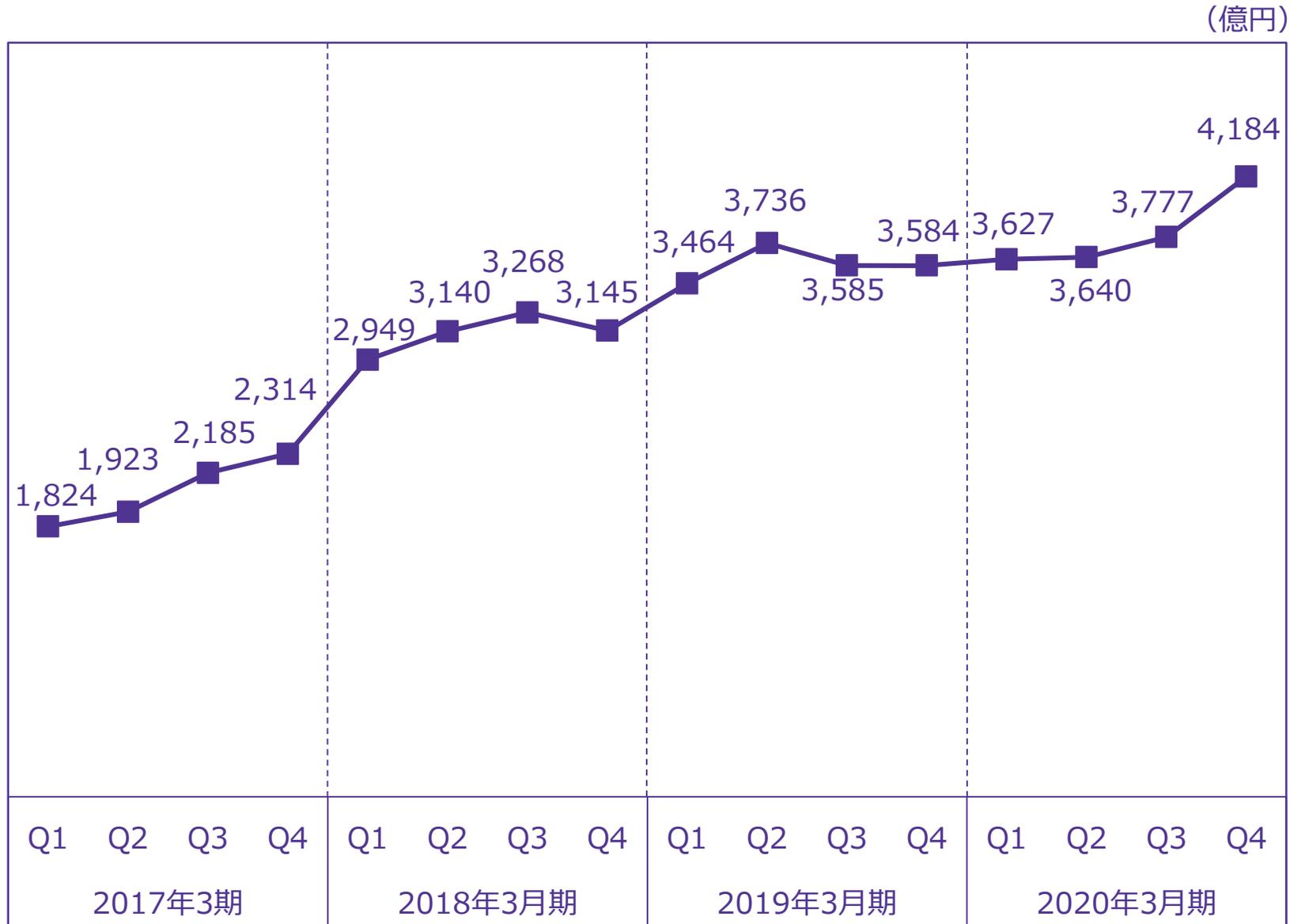
(億円)

	2019年 3月期 通期	2020年3月期 通期予想					対前年 同期比
		5/10 公表	8/8 公表	11/8 公表	2/7 修正公表		
受注高	5,033.9	5,300	5,100	5,000	5,000	▲0.7%	
売上高	4,594.8	4,800	4,600	4,500	4,400	▲4.2%	
営業利益	546.8	528	460	390	390	▲28.7%	
経常利益	558.4	535	465	397	397	▲28.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	395.6	382	335	285	285	▲28.0%	
1株当たり当期純利益	314.54円	303.67円	266.24円	226.47円	226.47円	-	

受注高、売上高の四半期ごとの推移



✓ 受注は回復傾向



✓ 今期末の受注残は前期末から600億円増加の見込み

国内外で新工場および新事務棟が竣工

	建設場所	竣工時期	目的
ダイフク 新事務棟	大阪市 本社敷地内	2019年12月	本社の老朽化対応、設計力およびソフトウェア強化
ダイフク 滋賀事業所 (新工場棟)	滋賀県 事業所敷地内	2019年9月	eコマース関連の受注増加、システムの大型化対応
米国 Wynright社 (新工場)	インディアナ州 ホバート市	2019年12月	生産能力を2倍に拡大
タイ 現地法人 (新工場棟)	チョンブリ県 ピントン	2019年12月	ASEAN向けの生産能力増強



大阪 新事務棟



滋賀事業所 新工場棟



Wynright社 新工場

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。